

洋友会本部総会報告（2018.4.25）於：パナソニック企業年金基金 松心会館

<議事>

平成29年活動報告、会計および監査報告 平成30年度活動計画、予算、規約改定
役員改選 滞りなく承認可決されました。

岐阜地区としては、入会者の慶弔引当金分割徴収における地区での徴収管理に反対意見を述べました。

<後藤会長の挨拶、議事の発言 抄>

- ①今年が発足30年の節目にあたるが、発足時に入会された会員が全国で50人が顕在である。また、記念品として万歩計を配布したが、これを使って、北海道地区では札幌から旭川へのウォーキング、四国地区は八十八か所巡りというイベントを企画されており、喜ばしく思う。各地区でも是非イベントを企画して戴きたい。
- ②洋友会も寄る年波で会員数も減少傾向にあり、新規加入者の確保をしてもらいたい。加入者を紹介して入会戴いた場合に今期限定で1000円のクオカードを進呈する。
- ③三洋電機の遊休資産の処理が進められており、洋友会15の拠点活動にも影響が出始めている。後日、今後の拠点活動に関する調査をおこなう。

<井垣三洋電機社長の挨拶>

- ①パナソニックは3/7に創業100周年を迎え、津賀社長からは今までの100年は松下幸之助の100年、これからはパナソニックとして新しいステージへの100年とする。社員は自分が何で新しいステージで躍動できるか考えよと訓辞。
- ②3月期の売り上げは計画より1500億増の7.9兆円、営業利益は3500億円、純利益は2100億円と好調であった。
- ④三洋電機に出向していた社員はパナ本体に4月1日付で戻し、「三洋電機法人管理センター」という部門で、洋友会の窓口と全国の三洋の資産売却を迅速化させる。三洋電機という法人はまだ残すが完全にヴァーチャルな会社となる。また、三洋家電のアフターサービス業務を完全にパナへ移管する。三洋電機の物故者法要は29年度を以って永代供養で終息した。今後は本福寺に委ねた。

報告者：辻 雅宏